

枚方淀川探鳥会 2026年3月

2026年(令和8年)3月1日(日) 9:00~12:00
日本野鳥の会大阪支部
前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏
松井正夫、新名泰博、平 軍二(☎090-6901-1425)

I 今月の鳥 ノスリ



ノスリ 20260201 迫田昌宏氏

①ノスリ タカ目タカ科ノスリ属

L 雄50~53cm 雌53~60cm 漢字名 鵟
学名 *Buteo buteo* 英名 Common Buzzard

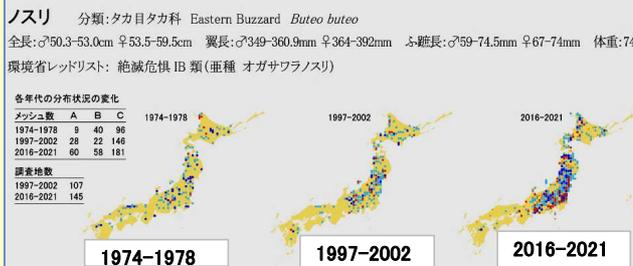
2月1日の探鳥会で対岸高槻市側の樹林の止まったノスリを観察しました。冬の淀川河川敷は餌となる小鳥が多いこともあって、多種・多様な猛禽類がいます。探鳥会チェックリストで見ていただくと、猛禽類がいろいろ観察されていることがわかります。

魚を主食とするミサゴ科ミサゴ、タカ科ではノスリ・オオタカ・ハイタカ、時にはチュウヒ、もちろんトビは常連、ハヤブサ科ハヤブサ・チョウゲンボウなどがでています。

今日も多数のタカが飛んでくれるものと、楽しみにしています。

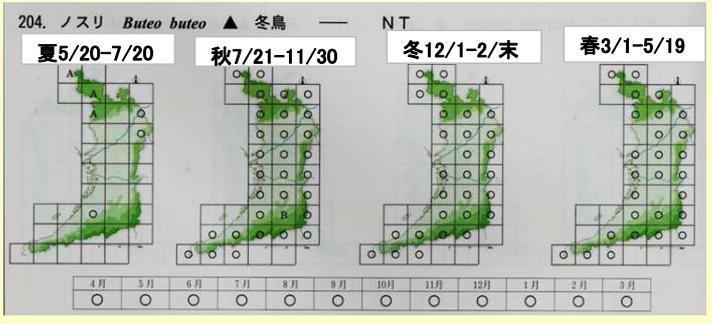
③ノスリ 日本の繁殖状況 全国鳥類繁殖分布調査2016~2021年 (鳥類繁殖分布調査会 2021年)

全国で冬鳥として越冬し、東日本の山地で繁殖し、西日本でも局所的に繁殖している。1970年代以降、分布は拡大傾向にあり、これまで繁殖の少なかった低地や西日本でも繁殖例が増えている。1990年代と2010年代にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録をみても、107地点から145地点へと増加した。



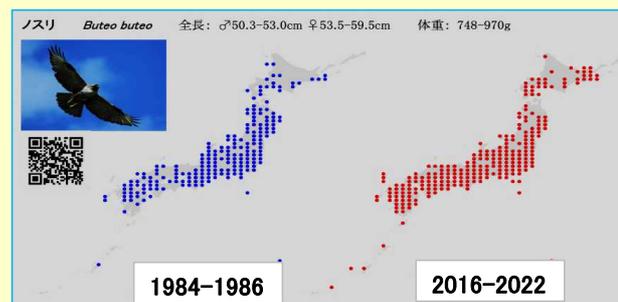
②大阪府のノスリ (大阪府鳥類目録 2016)

大阪府では箕面市・能勢町など北摂山地で繁殖記録がある。また、下図から秋~春の越冬期には、府内のほぼ全域で観察されており、一年中府内のどこかで確認されている。



④ノスリ 日本の越冬状況 バードリサーチ・日本野鳥の会 全国鳥類越冬分布調査2016~2022年

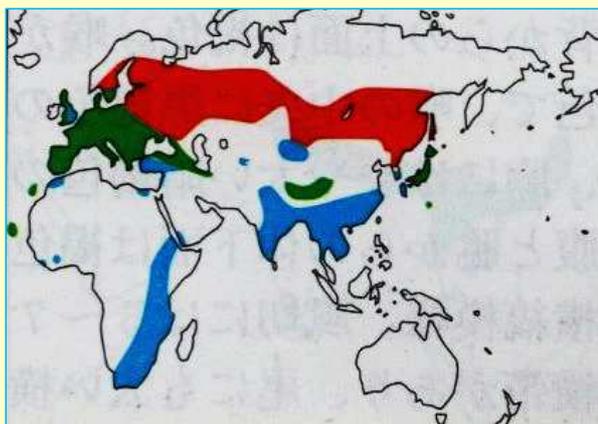
全国の山地や草原などで越冬する。西日本で記録メッシュ数の増加が見られた。繁殖期は主に東日本の山地で繁殖し、同様に記録の増加が見られている(植田・植村 2021)。



⑤世界のノスリ分布図

真木・大西(日本の野鳥590) 2000年平凡社

世界ではユーラシア大陸の中緯度地域に繁殖地があり、日本・欧州では留鳥。中国南部からインドシナ半島が越冬地。



II 探鳥会観察チェックリスト(第8版)

観察回数は、平が担当した2012年1月～先月2024年12月までの13年間での観察回数です。
100回以上は留鳥、50回前後は冬鳥or夏鳥、10回以下は珍鳥？

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026				第8版
				1	2	3	12	1	2	3	12	
				5	2	2	7	4	1	1	1	
12	カモ	マガン	1									12
18		ツクシガモ	3									18
23		トモエガモ	2	9								23
24		シマアジ	1									24
26		ハシビロガモ	9	2			1					26
27		オカヨシガモ	52	42	18	8	55	45	32			27
28		ヨシガモ	21	5	8	2		15	11			28
29		ヒドリガモ	48	3	9	2			3			29
30		アメリカヒドリ	6									30
32		カルガモ	97	6		16	4	3	12			32
33		マガモ	58			1			2			33
34		オナガガモ	8									34
35		コガモ	62	3	12	16			7			35
39		ホシハジロ	46	35	27	4	31	62	34			39
40		アカハジロ	6									40
41		メジロガモ	1									41
43		キンクロハジロ	47	94	65	24	256	190	275			43
44		スズガモ	7	8	1	1	2	1				44
56		ミコアイサ	2		1							56
58		カワアイサ	50	11	5		6	9	10			58
59		ウミアイサ	3									59
64	キジ	キジ	54		1		2	2				64
69	アマツバメ	アマツバメ	2									69
80	カウコウ	ホトトギス	2									80
82		ツツドリ	2									82
83		カウコウ	1									83
89	ハト	キジバト	123	5	12	10	3	4	5			89
96	クイナ	クイナ	12									96
100		バン	23									100
101		オオバン	55	81	93	112	94	56	52			101
103		ヒクイナ	7									103
117	カイツブリ	カイツブリ	51	4	5	5	11	2	1			117
119		カンムリカイツブリ	64	29	21	4	23	14	20			119
121		ハジロカイツブリ	4									121
127	チドリ	タゲリ	1									127
128		ケリ	27									128
134		イカルチドリ	9									134
135		コチドリ	32									135
136		シロチドリ	4									136
144	シギ	チュウシャクシギ	2									144
163		トウネン	1									163
165		ハマシギ	1									165
183		タシギ	5									183
188		イソシギ	89	1	1	2	2	3	1			188
190		クサシギ	3									190
192		キアシシギ	2									192
198		アオアシシギ	1									198
213	カモメ	ユリカモメ	22		2							213
221		ウミネコ	3									221
222		カモメ	3									222
226		セグロカモメ	20	2	2				1			226
233		コアジサシ	9									233
270	アビ	シロエリオオハム	1									270
315	ウ	カワウ	122	14	13	23	9	14	13			315
319	トキ	ヘラサギ	1	1	3	1						319
320		クロツラヘラサギ	1									320
328	サギ	ゴイサギ	10				1					328
330		ササゴイ	18									330
332		アマサギ	3									332
333		アオサギ	124	3	2	1	7	5	5			333
335		ダイサギ	120	2	2		12	4	3			335
337		コサギ	111	3	3	1	9	5	5			337
343	ミサゴ	ミサゴ	75	2	3	2	4	2	4			343
344	タカ	ハチクマ	2									344
352		ツミ					1					352
353		ハイタカ	36	1		1	4		2			353
354		オオタカ	27	1		2			1			354
355		チュウヒ	2									355
356		ハイロチュウヒ	1									356
359		トビ	102	2	3		2	2	1			359
363		サンバ	1									363
366		ノスリ	37		2				1	2		366
371	フクロウ	オオコノハズク	1									371
384	カワセミ	カワセミ	106	1	2		3	2	1			384
389	キツツキ	アリスイ	10									389
390		コゲラ	102	3	1				1			390
394		アカゲラ	6									394
402	ハヤブサ	チヨウゲンボウ	57				1	1				402
407		ハヤブサ	31	2	2	1	2	1				407

III 先月(2/1)探鳥会報告

ここ数か月続いていたスタート地点でのハヤブサは見られなかったが、出発してすぐインソヒヨドリ・ジョウビタキなどを見ることができた。

淀川本流でのカモの仲間は、下流から上流まで切れ目なく出たキンクロハジロ(275羽)をメインに、今シーズン見ていなかったヒドリガモ・コガモが出て9種を確認した。タカの仲間は常連のミサゴ(4羽)の他、対岸の林を飛び回ったノスリ(2羽)、トビ・ハイタカ、そしてオオタカも上空を飛び5種、中でもオオタカは繁殖準備に入る時期なので、今後を楽しみにしたい。淀川河川敷では例年観察できるタヒバリは出ないまま、磯島浄水場で取水地を中締め地点としたが、草はらからベニマシコの声聞いて終了とした。

第8版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026			第8版	第9版	科名	鳥名	観察回数	2025				2026			第8版							
				1	2	3	12	1	2	3						1	2	3	1	2	3									
411	サンショウクイ	サンショウクイ	1								411	ヒタキ(続)	キビタキ	16								550								
419	カササギヒタキ	サンコウチョウ	1								419	554	オジロビタキ	1								554								
425	モズ	モズ	114	4	6	4	12	6	3		425	556	ルリビタキ	1								556								
435	カラス	ハシボソガラス	129	23	9	28	57	38	6		435	561	ジョウビタキ	60	4	6	6	3	2	1		561								
436		ハシブトガラス	118	5	3	3	3	6	1		436	564	インビヨドリ	39			3		1	1		564								
440	シジュウカラ	ヒガラ	1								440	568	ノビタキ	13								568								
442		ヤマガラ	7								442	575	スズメ	125	130	150	62	80	56	10		575								
447		シジュウカラ	118	4	2	4	4	4	2		447	584	セキレイ	キセキレイ	42	1	1	1	3	1	1		584							
448	ツリスガラ	ツリスガラ	1								448	585	ハクセキレイ	116	21	6	14	14	17	11		585								
450	ヒバリ	ヒバリ	68		1			90	7		450	586	セグロセキレイ	109	2	1	1	3	4	5		586								
456	ヒヨドリ	ヒヨドリ	126	320	270	300	715	200+	80		456	595	タヒバリ	35			20					595								
458	ツバメ	ショウドウツバメ	6								458	597	アトリ	アトリ	29	12	30	14					597							
461		ツバメ	64								461	598	シメ	42				5	1	1		598								
462		イツツバメ	54	30	50	30	60		23		462	600	イカル	17	5		10					600								
463		コシアカツバメ	23								463	606	ベニマシコ	44	3			3	2	1		606								
464	ウグイス	ウグイス	119	4	2	7	2	1			464	608	カワラヒフ	114	17	18	43	7	4	21		608								
467	エナガ	エナガ	93	6	4	1	1				467	613	マヒワ	6									613							
476	ムシクイ	センダイムシクイ	7								476	618	ホオジロ	ホオジロ	119	4	6	10	4	6	7		618							
479		エゾクシクイ	1								479	622	ホオアカ	6									622							
481		メボソムシクイ	5								481	625	カシラダカ	23									625							
482		オオムシクイ	5								482	626	ミヤマホオジロ	1									626							
484	ヨシキリ	オオヨシキリ	33								484	633	アオジ	70	6	12	13	9	7	8		633								
485		コヨシキリ									485	637	オオジュリン	17									637							
497	セッカ	セッカ	32								497	9	キジ	コジュケイ	13								9							
501	メジロ	メジロ	103	30	4	3	4				501	11	ハト	カワラバト(ドバト)	121	100	60		51	46	40		11							
502	クイタダキ	クイタダキ	8								502	30	ムクドリ	ハッカチョウ	1									30						
507	ムクドリ	ムクドリ	113	35	107	150	55	16	40		507			カッコウSP	5															
509		コムクドリ	5								509			アイガモ	3															
512		ホシムクドリ	2								512			メボソムシクイSP	7															
525	ツグミ	マミチャジナイ	1								525			ヒタキSP	3															
526		シロハラ	54	5	7	3					526																			
527		アカハラ	2								527																			
531		ツグミ	60	1	33	14	4	2	2		531																			
532		ハチジョウツグミ									532																			
533	ヒタキ	エゾビタキ	9								533																			
534		サメビタキ	2								534																			
537		コサメビタキ	10								537																			
539		オオルリ	4								539																			
543		ノゴマ	1								543																			
															種数合計(自動計算)				53	52	47	47	46	46						
															個体数合計(自動計算)				1147	1108	1047	1144	955	767						
															探鳥会参加者数				26	24	30	39	35	39						
															13年間観察回数		1~2回													
																	100回以上													
															樹林伐採影響でいなくなる種															
															2012年1月~2024年12月の13年間 ①観察回数の少ない種(1~2回) ②観察回数多い種(100回以上) ③樹林伐採の影響を受けると思われる種															

鳥写真2枚(迫田昌宏氏)



ミサゴ(2060201)



ハイタカ(2060201)

IV次回4月5日(日)

午前9時 ラポールひらかた前

留鳥たちの繁殖期、キジの「ケン・ケン」など、春の歌で迎えてくれます。春の渡り鳥どんな鳥が来ているでしょうか。今月と同じように、大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みくださるようお願いいたします。

V (愛称)野鳥通りの今昔

磯島グラウンドの南側の河川敷(中水敷・高水敷)は、**30年以上木々が伐採されずに放置されてきたことから、樹木が大きくなり、いわゆる里山的な環境**となっていました。しかもそこは鳥に種子分散されたセンダンをメインに、ナンキンハゼ・アキニレ・クスノキ・エノキなど鳥の好む実の生る木があり、春秋の渡りの季節にはキビタキ・オオルリ・コサメビタキにムシクイの仲間など、冬になるとシロハラ・アトリ・シメなど、留鳥のシジュウカラ・エナガ・コゲラ・ヒヨドリなど、林の鳥が色々訪れてくれる場所となり、「**野鳥通り**」との愛称がついた小鳥の宝庫でした。

河川敷の木は台風などで洪水が発生すると、木が倒れ下流に流れること、その木が橋にぶつかり壊れると通行できなくなる懸念がありました。このようなことで、河川管理の予算が出たのでしょうか、2023年度に野鳥通りの樹木が伐採されました。

たまたま2023年春に、野鳥通り中水敷の木に**オオタカが営巣・子育てに成功しました**(下記マップ②オオタカ営巣地)。このため「オオタカが今後も営巣する場所を残してほしい」と淀川河川事務所をお願いした結果、営巣個所を中心に**50mX150m**の範囲を伐採せずに残してもらいました。2024年・2025年は残念ながら営巣しなかったため、河川事務所からは全伐するといわれています。

一方で、河川敷は林の鳥を呼ぶ所でなく、ホオジロ・ヒバリなどの草原の鳥の生息場所にすべきという考え方があり、これが本質と思っています。山野の鳥は都市公園にも住めますが、都会では農地が次々に住宅地化していることもあり、草原の住むところは無くなっています。河川敷は草原の鳥が生息できる唯一の場所であり、野鳥通りが草原の鳥の宝庫になってほしいと願っています。



伐採前(地理院地図)

野鳥通り周辺 空中写真

伐採後(グーグルマップ)

